

# 人狼ゲーム 人狼島の 戦慄

MOGIびー

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

人狼ゲームの話。

単純に、ダメダメな作品。

正直、ガチ勢の100分の1の会話です。

とりあえず人狼がいつていう人はどうぞ。

# 目次

4	3	2	1
2人の人狼	2人の狩人	占い師のけむり	開始
15	11	6	1



## 1 開始

夜になりました。

人狼は顔合わせをしてください。

朝になりました。

中央コテージに集まってください。

ガム「よろしくです」

トナカイ「よろ」

ゾンビ君「早速だけど、占い師いる？」

ガム「CO占い師」

A I S U 「はいはい。占い師CO」

ペタペタ「あつ、2人やね」

けむり「俺もCO占い師」

数学王「3人・・・。この中の2人は黒陣営か」

天狗「占い結果どうぞ」

ガム「ゾンビ君、白」

A I S U 「天狗さんが白です」

けむり 「ふたつ、白だよ」

のむお 「えー、どれを信じるべきや」

芋木 「ガムはゾンビ君を白、A I S U が天狗を白」

トナカイ 「そしてけむりさんがふたつさんを白」

石ころ 「黒はなし」

ゾンビ君 「俺は確かに白だよ」

天狗 「俺だって」

ふたつ 「そんなこと誰にでもいえるよ」

数学王 「まあ、占い師騙っているのは人狼と狂人やろな」

のむお 「とにかく、占い師吊りは後回しかな」

ペタペタ 「じゃあ、霊能は？」

ゾンビ君 「俺だよ。対抗は？」

天狗 「はい、俺も霊能だ」

石ころ 「霊能は2人」

芋木 「把握です」

A I S U 「占いのどれかが吊られたときに、重要だけどね」

ガム「OK。一応把握できた」

けむり「で、今日は誰を吊りましょか」

トナカイ「発言が少ない奴は怪しいな」

ゾンビ君「ふたつはあまりしゃべってないな」

ふたつ「僕か。別に吊ってもいいよ」

ペタペタ「俺と石ころも怪しいって思うだろ」

石ころ「ま、疑われるのは当然かも」

けむり「ふたつは白だよ。俺が保証する」

天狗「ただけむりの潔白は証明されてないぞ」

のむお「吊る人が誰もいないんだったら、占い師を吊っちゃってもいいか」

数学王「せやな」

けむり「この3人のうちか」

ガム「俺が本物です。2人は間違はなく黒陣営ですよ」

A I S U「それは俺やけむりにもいえることだ」

天狗「俺的にはA I S Uは吊りたくないんだが。白出してもらってるし」

ふたつ「だめだ。堂々巡りですな」

ゾンビ君「じゃあ、占い師ひとりづつ吊るか」

話し合いは終了です。

参加者は、処刑したい人物に投票してください。  
結果を発表します。

ガム↓A I S U

けむり↓ガム

A I S U ↓ガム

トナカイ↓けむり

石ころ↓ガム

ふたつ↓A I S U

ペタペタ↓けむり

天狗↓ガム

ゾンビ君↓A I S U

のむお↓ガム

芋木↓ガム

数学王↓けむり

ガム6票 けむり3票

A I S U 3票

処刑者はガムです。



ガム「まじすか・・・」

石ころ「ごめん。なんとなく君が怪しく見えちゃって」

数学王「ガムが真な気がせんでもないけどね」

AISU「これで黒はひとり減ったからいいでしょ」

のむお「すまんなガムさん」

ガム「頑張ってください」

ガムが処刑されました。

2日目の夜になりました。

く続くく

## 2 占い師のけむり

朝になりました。

のむおが無残な姿で発見されました。

中央コテージへ集まってください。

けむり「おはよー」

天狗「おは」

芋木「おはです」

ゾンビ君「霊能結果、ガム白」

ペタペタ「だろろうなあ」

石ころ「狂人なのか真なのか分からんもんな」

天狗「同じく白」

A I S U 「数学王は白」

けむり「芋木黒ですよ」

芋木「おいまて」

トナカイ「黒把握」

芋木「俺は違うぞ。けむり偽やな」

ゾンビ君「じゃあ、今日は芋木を吊って、霊能したらいいでしょ」

ふたつ「たぶんその霊能2人で結果割れるでしょう」

天狗「なるほど。俺とゾンビ君で霊能結果が分かれると」

ペタペタ「まあどっちかが黒陣営なのは確実やねんな」

AISU「芋木が黒ねえ。もう少し様子を見たい気もするけどな」

けむり「俺を信じて。奴が黒だ」

芋木「騙されるな！こいつは占い師騙っているだけや！」

トナカイ「さてどっちがモノホンか」

石ころ「勘だけど、芋木は黒ちやうかな」

ふたつ「僕は石ころさんに賛成だよ。けむりさんには白出ししてもらってるからね」

ゾンビ君「うゝむ」

けむり「ありがとう、ふたつ」

AISU「あれゝ何か、俺が偽のように・・・」

ペタペタ「いや占い師の真偽は保留だ」

数学王「そうだね。今は芋木を信じるか、けむりを信じるか」

天狗「俺も石ころに賛成して、芋木黒かな」

トナカイ「けむりさんのほうもなあ・・・」

芋木「俺は事実を言ってるんや」

けむり「俺を殺したら、人間側は負けてしまうよ」

A I S U「何言っている。俺が真だぞ」

天狗「けむりは偽やと思う。でも芋木が黒なのは本当かもしれないし」

数学王「おいおい、身内切りか？」

ゾンビ君「とりあえず天狗はA I S Uが真だと思っている。正直、俺はA I S Uは偽

だと思う。ガムがたぶん真」

ふたつ「それは同感。でも、一回けむりさんにかけてもいいかもしれない」

石ころ「明日けむりかA I S Uを吊ればいいじゃん」

芋木「吊られてたまるか！」

話し合いは終了です。

参加者は処刑したい人に投票してください。

結果を発表します。

けむり↓芋木

A I S U↓芋木

トナカイ↓けむり

石ころ↓芋木

ふたつ↓芋木

ペタペタ↓芋木

天狗↓芋木

ゾンビ君↓A I S U

芋木↓けむり

数学王↓けむり

芋木6票　けむり3票　A I S U 1票

処刑者は芋木です。

芋木「だから違うって言ってるのに」

ふたつ「芋木ラツシュ」

天狗「これで1w吊れた？」

トナカイ「いや、けむりはたぶん偽だな」

A I S U「そうかもしれないけど、芋木が狼の可能性はあるかな」

芋木「くそお。今度、化けて出てやる！」

芋木が処刑されました。

3日目の夜になりました。

人狼は参加者をひとり、噛み殺してください。  
く 続 く

## 3 2人の狩人

朝になりました。

ペタペタが無残な姿で発見されました。

中央コテージへ集まってください。

トナカイ「おはよー」

けむり「トナカイ黒」

トナカイ「は？」

A I S U 「石ころ白だよ」

石ころ「センキュー」

ゾンビ君「1日目言ってなかったよ。霊能、のむお白、ペタペタ白」

天狗「のむお白でペタも白やで」

数学王「じゃあトナカイ吊ったらいいんじゃないね」

ふたつ「けむりが真だった場合ね」

トナカイ「CO狩人!!!」

A I S U 「おっと？」

天狗「吊りを避けるためか」

石ころ「はいはい。CO狩人」

ゾンビ君「おや、対抗でたな」

石ころ「真は俺だよ。みんな俺を信じろ」

数学王「えー」

A I S U「おやおや。見た感じどちらか狂人かな？」

けむり「俺の占いが嘘だっというのかよ」

ふたつ「・・・占い師ローラーでよくない？」

天狗「そうなら、けむりを吊ってほしいな」

ゾンビ君「どうせA I S Uもけむりも偽でしょ」

けむり「・・・降参。CO狂人」

数学王「A I S Uが真かい」

トナカイ「けむりが狂人ってことは芋木は白でふたつはグレーになるね」

ふたつ「そんない」

天狗「とにかく今日はけむりを吊る」

石ころ「同感だ」

話し合いは終了です。



参加者は処刑したい人に投票してください。  
結果を発表します。

けむり↓A I S U

A I S U↓けむり

トナカイ↓石ころ

石ころ↓けむり

ふたつ↓A I S U

天狗↓けむり

ゾンビ君↓けむり

数学王↓けむり

けむり5票 A I S U 2票 石ころ1票

処刑者はけむりです。

けむり「狂人はホントつらいよ」

数学王「それ、遺言？」

天狗「これで占い師はたぶん真残せたはずだ」

トナカイ「じゃあこの狩人2人はどういうことだよ」

石ころ「それはまた明日」

けむりが処刑されました。

4日目の夜になりました。

人狼は参加者をひとり噛み殺してください。

人狼A「狩人やる？」

人狼B「いや・・・A I S Uをやろう」

人狼A「えっ」

人狼B「狩人を片方やったらお前が次に吊られてしまうよ」

人狼A「・・・そうかけむりは狂人か」

人狼B「そうや。それを考慮しないとあかんねん」

人狼A「読者には透けてしまったが、A I S Uをやれば、A I S Uが真だと信じ込ませることができるはずってことか」

人狼B「そういうことだ。もうこの時点で読者目線、人狼は2択のはず」

人狼A「そうだな。じゃあA I S U噛むわ」

狩人「・・・A I S Uが真には見えなかつたなあ・・・。真はガムなんやろか・・・」  
狂信者「少しは楽になったか・・・。あつ。おや・・・やられてしまったな」

## 4 2人の人狼

朝になりました。

トナカイが無残な姿で発見されました。

中央コテージへ集まってください。

石ころ「おは」

ゾンビ君「おや？ 石ころが偽かな？」

A I S U 「トナカイ死んでるしな」

数学王「石ころ吊りか」

石ころ「はやまるな、みんな」

ゾンビ君「えーつとけむりは白」

天狗「同じく」

ふたつ「じゃあ今日は石ころ吊りでOKか」

数学王「せやな」

A I S U 「ああ、ふたつ黒やで」

天狗「えっほんま？」

ふたつ「ちがうよ！」

ゾンビ君「こりやラストウルフか？」

数学王「人数的には、やな」

石ころ「じゃあふたつを吊れば？ 次の日に俺を吊る」

天狗「なるほど。A I S Uを真と見れば、ふたつを吊っておわりやもんな。人数的に」

A I S U「油断はできないよ」

石ころ「狂信者は死んだんかな」

天狗「吊られたけむりかガムがそうだったのかも」

数学王「占い師はたぶん、真、狂人、狂信者やったんやろな」

ふたつ「じゃあA I S Uは黒側やな。俺、狼ちやうし」

石ころ「さてよ？ けむりは黒確定だな。トナカイ黒言ってるし」

数学王「じゃあ、ガムが黒側か」

天狗「そうなると、ガムが初日に白出した、ゾンビ君が怪しくなるが」

ゾンビ君「いい加減にしろよ？ 偽はお前やで？ 天狗」

天狗「俺がモノホンだよ」

A I S U「ゾンビ君は残しておいて、俺が占うから」

ふたつ「・・・じゃあ俺が吊られるのは確定なんか」

石ころ「そだな」

数学王「ふたつがホントに黒で、ゾンビ君も黒やったら勝利確定なんだけどな」

ゾンビ君「人間側が勝ちたかったら俺は吊らんほうがええで」

ふたつ「それは俺にも言えることやで」

A I S U「とにかく、ふたつを吊って様子を見ましょう」

話し合いは終了です。

参加者は処刑したい人に投票してください。

結果を発表します。

A I S U↓ふたつ

石ころ↓ふたつ

ふたつ↓A I S U

天狗↓ふたつ

ゾンビ君↓A I S U

数学王↓ふたつ

ふたつ4票 A I S U 2票

処刑者はふたつです。

ふたつ「本当に人間なのに・・・」

石ころ「人狼はみんなそう言う」

数学王「A I S Uは真やからどう考えても、ふたつは狼」

ゾンビ君「いや、A I S Uは狂信者かなんかだぜ？」

ふたつが処刑されました。

5日目の夜になりました。

人狼は参加者をひとり噛み殺してください。

朝になりました。

ゾンビ君が無残な姿で発見されました。

人狼陣営の勝利です。

天狗「よし。神は俺たちに味方してくれたようだ」

石ころ「そうやな」

天狗「A I S U噛まんて正解やったな」

石ころ「うむ。それは思った」

天狗「まあ石ころが狩人C Oした意味があつたのかは知らんけど」